

## 平成 27 年度森林吸収源インベントリ情報整備事業 全体講習会

開催日時 平成 27 年 6 月 25 日（木）13:30 ～ 16:00

場所 (国研) 森林総合研究所 本所（森林環境変動解析棟）  
北海道支所，関西支所，四国支所，九州支所（TV 会議）

参加者（森林総研）金子，大貫，石塚，平井，田中，池田，古澤，今矢，橋本，大曾根，  
相澤，岡本，酒井（寿），酒井（佳）

参加者（受託者）増田，佐藤，藤本，村田，小池，久野，〔(株) クリタス〕，藏重，高  
野〔(株) 宮城環境保全研究所〕，常富，廣田，清水，飯沼，渡辺，加藤，  
栗本〔岐阜県森林組合連合会〕，江藤，西村，水上〔熊本県森林組合連  
合会〕，増永〔(株) アドプランツコーポレーション〕，岡本，権，渡辺，  
岡田，三河，佐藤，濱田，糸賀，藤田〔クリタ分析センター（株）〕

### ● スケジュール

13 : 30 開会

13 : 30～ 講義

I 事業の概要

II 野外調査方法の確認

III 野外調査データの入力について

IV 試料の調整と分析

V データの品質管理と成果品の提出

15 : 40～ 全体質疑

16 : 00 閉会

### ● 概要

平成 27 年度森林吸収源インベントリ情報整備事業土壌等調査事業の開始にあたり，全国 6 ブロックの試料収集分析業務受託者およびその再受託先を対象に，事業の説明会を行った。本年度の受託者の多くは昨年度もこの事業を受託しているが，1 者は本年度からの新規参入である。講義ではこのことに配慮し，新規参入者にも調査・分析の流れがわかりやすいよう事業の概要が解説されつつ，昨年度までの調査・分析の状況をもとに特に注意すべき点に焦点をあてた説明が行われた。また，作業の意味を理解することが精度の高い測定につながるという観点から，それぞれの測定項目が最終的にどのように炭素蓄積量の計算に使われるのかという理論的背景についても解説された。昨年度は野外調査，分析業務ともに多少の遅れが生じ，事業完了間際のスケジュールが逼迫した。本年度は全体の作業が滞りなく進行するよう，各期日についても十分な確認を行った。講義後は新規参入者を中心に作業工程や，野外調査の具体的な方法についての質疑応答

があった。

講義と質疑応答を通し，森林総研の担当者と受託者の間で注意事項や留意点の確認ができ，事業最初の講習会は十分な成果をあげることができた。

● 記録写真

